

2. 専門基礎分野

教育内容	授業科目	単 位	時 間
人体の構造と機能・疾病の成り立ち と回復過程の促進 【16単位】	解剖生理学Ⅰ	1	30
	解剖生理学Ⅱ	1	30
	解剖生理学Ⅲ	1	30
	解剖生理学Ⅳ	1	30
	生化学	1	15
	栄養学	1	30
	薬理学	1	30
	微生物学	1	15
	病理学	1	15
	疾病論Ⅰ	1	30
	疾病論Ⅱ	1	30
	疾病論Ⅲ	1	30
	疾病論Ⅳ	1	30
	疾病論Ⅴ	1	30
	疾病論Ⅵ	1	15
	臨床検査総論	1	15
健康支援と社会保障制度 【6単位】	公衆衛生学	1	15
	健康支援論	1	15
	関係法規	1	15
	社会保障制度	2	30
	医療論	1	15
合 計		22	495

分野	専門基礎分野	授業 科目名	解剖生理学 I	
開始 年次	1 年 前期	単位数 時間数	1 単位 30時間	
授業の目的及びねらい				
人間のからだの構造と生理機能について学び、疾病や看護学の土台となる基礎的知識を身につける。				
時間	目標	主題	内容	指導方法
29	1. 解剖生理学の基礎的知識が理解できる。 2. 運動器系の構造と機能が理解できる。 3. 生体の防御機構について理解できる。	1) 人体の構造と機能 1) 身体の支持と運動 1) 身体機能の防御と適応	(1) 人体の構造と機能を学ぶために (2) 構造からみた人体 (3) 人体のさまざまな器官 (4) 素材からみた人体 ①幹細胞 ②分化した細胞がつくる組織 ③腔所を包む組織 (1) 骨格の構造と機能 (2) 骨の連結 (3) 骨格筋の構造と機能 (4) 各部位の骨格と筋 (5) 筋の収縮 (6) 運動と代謝 (1) 皮膚の構造と機能 (2) 生体の防御機構 ①非特異的生体防御機構 ②特異的生体防御機構 ③生体防御の関連臓器 (3) 体温とその調節	講義
1	単位認定試験：筆記試験			
テキスト				
系統看護学講座 人体の構造と機能〔1〕 解剖生理学 医学書院 解剖生理学ワークブック 医学書院				

分野	専門基礎分野	授業 科目名	解剖生理学Ⅱ	
開始 年次	1 年 前期	単位数 時間数	1 単位 30時間	
授業の目的及びねらい		人間のからだの構造と生理機能について学び、疾病や看護学の土台となる基礎的知識を身につける。		
時間	目標	主題	内容	指導方法
29	1. 循環器系の構造と機能が理解できる。 2. 血液の機能が理解できる。 3. 呼吸器系の構造と機能が理解できる。	1) 循環器系 1) 血液 1) 呼吸器系	(1) 心臓の構造と機能 ①心臓の構造 ②心臓の拍出機能 (2) 血管系の構造と機能 ①末梢循環系の構造 ②血液の循環の調節 (3) リンパ系の構造と機能 (1) 血液の成分と機能 (2) 止血機構 (3) 血液型 (1) 気道の構造と機能 (2) 肺の構造 (3) 呼吸 ①内呼吸と外呼吸 ②呼吸運動 ③呼吸気量 ④ガス交換とガスの運搬 ⑤肺の循環と血流	講義
1	単位認定試験：筆記試験			
テキスト				
系統看護学講座 人体の構造と機能〔1〕 解剖生理学 医学書院 解剖生理学ワークブック 医学書院				

分野	専門基礎分野	授業 科目名	解剖生理学Ⅲ	
開始 年次	1 年 前期	単位数 時間数	1 単位 30時間	
授業の目的及びねらい				
人間のからだの構造と生理機能について学び、疾病や看護学の土台となる基礎的知識を身につける。				
時間	目標	主題	内容	指導方法
29	1. 消化器系の構造と機能が理解できる。 2. 泌尿器系の構造と機能が理解できる。 3. 生殖器系の構造と機能が理解できる。	1) 消化器系 1) 泌尿器系 1) 生殖器系	(1) 咀嚼・嚥下 ①口・咽頭・食道の構造と機能 (2) 消化と吸収 ①腹部消化管の構造と機能 ②膵臓・肝臓・胆嚢の構造と機能 ③腹膜 (1) 腎臓 ①腎臓の構造と機能 ②糸球体の構造と機能 ③尿細管の構造と機能 ④傍糸球体装置 ⑤クリアランスと糸球体濾過量 ⑥腎臓から分泌される生理活性物質 (2) 排尿路 ①排尿路の構造 ②尿の貯蔵と排尿 (3) 体液量の調節 ①水の出納 ②脱水 ③電解質の異常 ④酸塩基平衡 (1) 女性の生殖器系の構造と機能 (2) 男性の生殖器系の構造と機能	講義
1	単位認定試験：筆記試験			
テキスト				
系統看護学講座 人体の構造と機能〔1〕 解剖生理学 医学書院 解剖生理学ワークブック 医学書院				

分野	専門基礎分野	授業 科目名	解剖生理学Ⅳ	
開始 年次	1 年 前期	単位数 時間数	1 単位 30時間	
授業の目的及びねらい				
人間のからだの構造と生理機能について学び、疾病や看護学の土台となる基礎的知識を身につける。				
時間	目標	主題	内容	指導方法
29	1. 自律神経系の構造と機能が理解できる。 2. 内分泌系の構造と機能が理解できる。 3. 神経系の構造と機能が理解できる。 4. 感覚器の構造と機能が理解できる。	1) 自律神経系 1) 内分泌系 1) 神経系 1) 感覚器系	(1) 自律神経の機能 (2) 自律神経の構造 (3) 自律神経の神経伝達物質と受容体 (1) 内分泌系による調節 (2) 全身の内分泌腺と内分泌細胞 (3) ホルモン分泌の調節 (4) ホルモンによる調節の実際 (1) 神経系の構造と機能 (2) 脊髄と脳 (3) 脊髄神経と脳神経 (4) 脳の高次機能 (5) 運動機能と下行伝導路 (6) 感覚機能と上行伝導路 (1) 体性感覚 (2) 眼の構造と視覚 (3) 耳の構造と聴覚・平衡感覚 (4) 味覚と嗅覚 (5) 内臓感覚	講義
1	単位認定試験：筆記試験			
テキスト				
系統看護学講座 人体の構造と機能〔1〕 解剖生理学 医学書院 解剖生理学ワークブック 医学書院				

分野	専門基礎分野	授業 科目名	生化学	
開始 年次	1 年 前期	単位数 時間数	1 単位 15時間	
授業の目的及びねらい		細胞や組織内に存在する様々な物質やそこで起きる様々な化学反応やプロセスを分子レベルで理解する。		
時間	目標	主題	内容	指導方法
4	1. 細胞小器官内での生化学的反応が理解できる。	1) 細胞と組織	(1) 細胞の構造 ①細胞膜と細胞質 ②核 ③細胞小器官と細胞骨格 (2) 遺伝子と遺伝情報 ①ゲノムと遺伝子 ②タンパク合成 (3) 細胞分裂 ①染色体の複製と有糸分裂 (4) 細胞内情報伝達 ①イオンチャンネル型受容体 ②代謝調節型受容体	講義
10	2. 生体の機能による生化学的反応が理解できる。	1) 代謝系 2) 内分泌系	(1) 物質代謝 ①同化作用と異化作用 ②酵素 ③代謝 (1) ホルモンの種類 ①ホルモンの化学的性質 ②ホルモンの受容体 (2) 内分泌器官の構造とホルモンの機能	
1	単位認定試験：筆記試験			
テキスト				
コンパクト生化学 南江堂				

分野	専門基礎分野	授業 科目名	栄養学	
開始 年次	1 年 前期	単位数 時間数	1 単位 30時間	
授業の目的及びねらい				
1. 人間にとっての栄養の意義を学ぶ。 2. 臨床栄養の基礎を学び、食事療法の基礎的知識を学ぶ。				
時間	目標	主題	内容	指導方法
29	1. 人間にとっての栄養の意義が理解できる。	1) 人間栄養学と看護 2) 栄養素の種類とはたらき 3) 食物の消化と栄養素の吸収・代謝 4) エネルギー代謝と栄養状態の評価・判定 5) ライフステージと栄養	(1) 栄養学とは (2) 保健・医療における栄養学 (3) 看護と栄養 (1) 糖質 (2) 脂質 (3) タンパク質 (4) ビタミン (5) ミネラル (6) 食物繊維 (1) 食物の消化 (2) 栄養素の吸収 (3) 栄養素の代謝 (4) 吸収・代謝産物の排泄 (1) エネルギー消費 (2) 食事摂取基準 (3) 栄養アセスメント (1) ライフステージにおける栄養	講義
	2. 臨床栄養の基礎的知識を学び、食事療法の基本が理解できる。	1) 臨床栄養	(1) 臨床栄養の意義 (2) 食事療法の概要 (3) 疾患別食事療法の実際	講義
	3. 栄養や食生活の側面から生活習慣病の予防について理解できる。	1) 健康づくりと食生活	(1) 生活習慣病の予防	講義
1	単位認定試験：筆記試験			
テキスト				
系統看護学講座 栄養学 医学書院				

分野	専門基礎分野	授業 科目名	薬理学	
開始 年次	1 年 後期	単位数 時間数	1 単位 30時間	
授業の目的及びねらい				
薬物の特徴と作用機序、人体への影響を学ぶ。				
時間	目標	主題	内容	指導方法
6	薬理学の基礎的知識が理解できる。	1) 薬理学総論	(1) 薬理学を学ぶにあたって ①薬物療法と看護 ②薬理学とはなにか (2) 薬理学の基礎知識 ①薬が作用するしくみ (薬力学) ②薬物動態学 ③薬物相互作用 ④薬効の個人差に影響する因子 ⑤薬物使用の有益性と危険性 ⑥薬と法律、薬の管理 ⑦物質としての薬物の分類	講義
23	薬物の作用と副作用 (有害事象) が理解できる。	2) 薬理学各論	(1) 抗感染症薬 (2) 抗がん薬 (3) 免疫治療薬 (4) 抗アレルギー薬・抗炎症薬 (5) 抹消での神経活動に作用する薬物 (6) 中枢神経作に作用する薬物 (7) 循環器系に作用する薬物 (8) 呼吸器、消化器、生殖器系に作用する薬物 (9) 物質代謝に作用する薬物 (10) 皮膚科用薬、眼科用薬 (11) 救急の差に使用される薬物 (12) 漢方薬 (13) 消毒薬	講義
1	単位認定試験：筆記試験			
テキスト				
系統看護学講座 疾病の成り立ちと回復の促進〔3〕 薬理学 医学書院				

分野	専門基礎分野	授業 科目名	微生物学	
開始 年次	1 年 前期	単位数 時間数	1 単位 15時間	
授業の目的及びねらい				
1. 微生物の特徴と生体に及ぼす影響を学ぶ。 2. 感染症の基礎と、感染症対策の基礎的知識を学ぶ。				
時間	目標	主題	内容	指導方法
4	1. 各微生物の性質や構造、増殖を理解できる。	1) 微生物の基礎	(1) 微生物と微生物学 (2) 細菌の性質 (3) 真菌の性質 (4) ウイルスの性質 (5) プリオンの性質 (6) 寄生虫の性質	講義
6	2. 感染症の基礎知識を学び、感染症対策の基礎を理解する。	1) 感染の成立と予防	(1) 感染と感染症 (2) 微生物の感染機構 (3) 感染症の予防 (4) 感染症法 (5) 感染症の検査と治療 (6) 滅菌と消毒 (7) 予防接種	講義
4	3. 主な病原微生物の特徴や診断、治療を理解できる。	1) 主な病原微生物	(1) 細菌学各論 (2) 原虫学各論 (3) ウイルス学各論	講義
1	単位認定試験：筆記試験			
テキスト				
系統看護学講座 疾病の成り立ちと回復の促進〔4〕 微生物学 医学書院				

分野	専門基礎分野	授業 科目名	病理学	
開始 年次	1 年 前期	単位数 時間数	1 単位 15時間	
授業の目的及びねらい				
1. 病理学の概念を理解する。 2. 基本的な病因とその成り立ちを理解する。				
時間	目標	主題	内容	指導方法
2	1. 病理学の概念が理解できる。	1) 病理学の概念	(1) 看護と病理学 (2) 病気の原因 (3) 病気の分類と病理学の学び方	講義
12	2. 基本的な病因とその成り立ちが理解できる。	1) 細胞・組織の損傷と修復、炎症 2) 免疫 3) 循環障害 4) 代謝障害 5) 先天異常と遺伝性疾患 6) 腫瘍 7) 生活習慣と環境因子による生体の障害	(1) 細胞・組織の損傷と適応 (2) 細胞・組織の損傷に対する反応としての炎症 (3) 炎症の分類と治療 (1) 免疫と免疫不全 (2) アレルギーと自己免疫疾患 (1) 浮腫（水腫） (2) 充血とうっ血 (3) 出血と止血 (4) 血栓症 (5) 塞栓症 (6) 虚血と梗塞 (7) 側副循環による障害 (8) 播種性血管内凝固症候群(DIC) (9) ショックと臓器不全 (1) 脂質代謝障害 (2) タンパク質代謝障害 (3) 脂質代謝異常 (4) そのほかの代謝障害 (1) 先天異常 (2) 遺伝子の異常と疾患 (3) 先天異常・遺伝性疾患の診断と治療 (1) 腫瘍の定義と分類 (2) 悪性腫瘍の広がりや影響 (3) 腫瘍発生の病理 (4) 腫瘍の診断と・治療 (1) 生活習慣による生体の障害 (2) 放射線による生体の障害 (3) 中毒	講義
1	単位認定試験：筆記試験			
テキスト				
系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進〔1〕 病理学 医学書院				

分野	専門基礎分野	授業 科目名	疾病論Ⅰ	
開始 年次	1 年 後期	単位数 時間数	1 単位 30時間	
授業の目的及びねらい				
1. 筋・骨格系疾患の病態・診断・治療を理解する。 2. アレルギー疾患・自己免疫疾患の病態・診断・治療を理解する。				
時間	目標	主題	内容	指導方法
17	1. 筋・骨格系疾患の病態と診断・治療が理解できる。	1) 筋・骨格系疾患の病態と診断・治療	(1) 骨折 (2) 脱臼 (3) 捻挫 (4) 骨粗鬆症 (5) 腫瘍：骨肉腫、軟部組織腫瘍 (6) 変形性関節症 (7) 腰痛症：椎間板ヘルニア 腰部脊柱管狭窄症 (8) 炎症性疾患：骨炎・骨髓炎、 関節炎 (9) 関節リウマチ	講義
10	2. 自己免疫疾患（膠原病）の病態と診断・治療が理解できる。	1) 自己免疫疾患（膠原病）の病態と診断・治療	(1) 全身性エリテマトーデス (2) シェーグレン症候群 (3) 全身性強皮症 (4) 皮膚筋炎、多発性筋炎 (5) ペーチェット病	講義
		2) アレルギー疾患の病態と診断・治療	(1) 花粉症（アレルギー性鼻炎） (2) 蕁麻疹 (3) 接触性皮膚炎	
2	3. 感染性疾患の病態と診断・治療が理解できる。	1) 感染性疾患の病態と診断・治療	(1) 敗血症 (2) ヒト免疫機能不全ウイルス感染症	講義
1	単位認定試験：筆記試験			
テキスト				
系統看護学講座 成人看護学〔10〕 運動器 医学書院 系統看護学講座 成人看護学〔11〕 アレルギー 膠原病 感染症 医学書院				

[illegible]

分野	専門基礎分野	授業 科目名	疾病論Ⅲ	
開始 年次	1 年 後期	単位数 時間数	1 単位 30時間	
授業の目的及びねらい				
1. 血液・造血器疾患の病態・診断・治療を理解する。 2. 消化器疾患の病態・診断・治療を理解する。				
時間	目標	主題	内容	指導方法
6	1. 血液・造血器疾患の病態生理、検査、治療について理解できる。	1) 血液・造血器疾患の病態と診断・治療	(1) 血液・造血器疾患 ①貧血 （鉄欠乏性貧血、巨赤芽球性貧血、溶結性貧血、骨髓異形成症候群、二次性貧血） ②白血病 ③悪性リンパ腫 ④多発性骨髄腫 ⑤出血性疾患 （血栓性血小板減少性紫斑病、免疫血小板減少性紫斑病） ⑥播種性血管内凝固（DIC）	講義
21	2. 消化器疾患の病態生理、検査、治療について理解できる。	1) 消化管疾患の病態と診断・治療	(1) 上部消化管疾患 ①炎症性疾患 （逆流性食道炎、急性胃炎、慢性胃炎、ヘリコバクターピロリ感染症） ②潰瘍性疾患 （胃潰瘍、十二指腸潰瘍） ③腫瘍（食道癌、胃癌） ④食道静脈瘤 (2) 下部消化管疾患 ①炎症性疾患 （潰瘍性大腸炎、クローン病、虫垂炎、痔瘻） ②イレウス ③腫瘍 （大腸ポリープ、結腸癌、直腸癌） ④慢性便秘症	講義

時間	目標	主題	内容	指導方法
2	3. 治療	2) 肝臓・胆嚢・膵臓疾患の病態・診断・治療 3) 腹壁・腹膜・横隔膜疾患の病態・診断・治療 1) 手術療法	(1) 肝胆膵疾患 ①炎症性疾患（肝炎、胆管炎、胆嚢炎、膵炎） ②肝硬変 ③腫瘍（肝癌、胆嚢癌、胆管癌、膵癌） ④脂肪肝、アルコール性肝炎、非アルコール性脂肪性肝炎 ⑤胆石症 (1) 腹壁・腹膜・横隔膜疾患 ①鼠経ヘルニア ②腹膜炎 ③横隔膜ヘルニア、吃逆 ④腹壁癒痕ヘルニア (1) 麻酔とは何か (2) 麻酔の種類 (3) 麻酔の実際	講義
1	単位認定試験：筆記試験			
テキスト				
系統看護学講座 成人看護学〔4〕 血液・造血器 医学書院 系統看護学講座 成人看護学〔5〕 消化器 医学書院				

分野	専門基礎分野	授業 科目名	疾病論Ⅳ	
開始 年次	2 年 前期	単位数 時間数	1 単位 30時間	
授業の目的及びねらい				
1. 腎泌尿器疾患の病態・診断・治療を理解する。 2. 女性生殖器疾患の病態・診断・治療を理解する。 3. 口腔、咽頭の疾患の病態・診断・治療を理解する。				
時間	目標	主題	内容	指導方法
8	1. 泌尿器系の疾患の病態・診断・治療が理解できる	1) 泌尿器疾患の病態・診断・治療	(1) 泌尿器疾患 ①腎炎 ネフローゼ症候群 ②腎盂腎炎、膀胱炎 ③腫瘍 腎癌・尿管癌・膀胱癌 ④腎・尿路結石 ⑤腎不全	講義
16	2. 生殖器系の疾患の病態・診断・治療が理解できる。	1) 男性生殖器の病態・診断・治療 2) 女性生殖器の病態・診断・治療	(1) 男性生殖器疾患 ①前立腺炎 ②前立腺肥大 ③前立腺癌 (1) 女性生殖器疾患 ①子宮筋腫 ②子宮内膜症 ③卵巣脳腫 ④不育症 ⑤月経異常 ⑥更年期障害 ⑦子宮体癌・子宮頸癌・卵巣癌 ⑧性感染症 ⑨乳癌、乳腺炎、乳腺症	講義
5	3. 口腔、咽頭の疾患の病態・診断・治療が理解できる。	1) 口腔、咽頭の疾患の病態・診断・治療	(1) 口腔、咽頭の疾患 ①齲歯 ②歯周病	講義
1	単位認定試験：筆記試験			
テキスト				
系統看護学講座 成人看護学〔8〕 腎・泌尿器 医学書院 系統看護学講座 成人看護学〔9〕 女性生殖器 医学書院 系統看護学講座 成人看護学〔15〕 歯・口腔 医学書院				

分野	専門基礎分野	授業 科目名	疾病論Ⅴ	
開始 年次	2 年 前期	単位数 時間数	1 単位 30時間	
授業の目的及びねらい				
1. 脳・神経疾患の病態・診断・治療を理解する。 2. 内分泌系疾患の病態・診断・治療を理解する。 3. 代謝異常の疾患の病態・診断・治療を理解する。				
時間	目標	主題	内容	指導方法
20	1. 脳・神経疾患の病態と検査・治療について理解できる。	1) 中枢神経系疾患の病態と診断・治療	(1) 脳血管障害 (くも膜下出血、脳出血、脳梗塞、もやもや病、頭蓋内圧亢進症) (2) 脳腫瘍 (3) 頭部外傷 (4) 脊椎損傷 (5) 筋疾患・神経接続部疾患 (筋ジストロフィー、重症筋無力症) (6) 脱髄疾患(多発性硬化症) (7) 変性疾患 (パーキンソン病、筋委縮性側索硬化症) (8) 感染症 (脳炎、髄膜炎) (9) 機能性疾患 (てんかん) (10) 認知症 (アルツハイマー病、レビー小体型認知症、血管性認知症)	講義
9	2. 内分泌系の疾患の病態と検査・治療について理解できる。	2) 末梢神経系の疾患の病態と診断・治療 1) 下垂体疾患の病態と診断・治療 2) 甲状腺疾患の病態と診断・治療 3) 副甲状腺疾患の病態と診断・治療	(1) ギランバレー症候群 (2) 顔面神経麻痺(ベル麻痺) (1) 成長ホルモン産生腫瘍 (2) 尿崩症 (3) ADH不適切分泌症候群(SIADH) (4) 下垂体腫瘍 (1) 甲状腺炎 (2) バセドウ病(甲状腺機能亢進症) (3) 甲状腺機能低下症 (4) 甲状腺クリーゼ (5) 甲状腺腫瘍(甲状腺がん) (1) 原発性副甲状腺機能亢進症 (2) 副甲状腺機能低下症	講義

時間	目標	主題	内容	指導方法
	3. 代謝異常疾患の病態と検査・治療について理解できる。	4) 副腎皮質・髄質の病態と診断・治療 1) 栄養バランス不均衡による疾患の病態と診断・治療	(1) 原発性アルドステロン症 (2) クッシング症候群 (3) 原発性副腎皮質機能低下症 (4) 褐色細胞腫 (1) 糖尿病 (2) 脂質異常症 (3) 肥満症とメタボリックシンドローム (5) 尿酸代謝異常 (高尿酸血症、痛風)	講義
1	単位認定試験：筆記試験			
テキスト				
系統看護学講座 成人看護学〔7〕 脳・神経 医学書院 系統看護学講座 成人看護学〔6〕 内分泌・代謝 医学書院				

分野	専門基礎分野	授業 科目名	疾病論Ⅵ	
開始 年次	2 年 後期	単位数 時間数	1 単位 15時間	
授業の目的及びねらい				
1. 感覚器疾患の病態・診断・治療を理解する。				
時間	目標	主題	内容	指導方法
14	1. 感覚器系の疾患の病態・診断・治療が理解できる。	1) 耳鼻咽喉疾患の病態と診断・治療 2) 眼疾患の病態・診断・治療 3) 皮膚疾患の病態・診断・治療	(1) 難聴 (2) メニエール病 (特発性内リンパ水腫) (3) 嗅覚障害 (4) 味覚障害 (5) 炎症性疾患 ①咽頭炎 ②扁桃炎 (6) 腫瘍 ①舌癌 ②咽頭癌 (1) 網膜剥離 (2) 白内障 (3) 緑内障 (4) 網膜症 (1) 表在性皮膚疾患 ①湿疹(皮膚炎) ②接触性皮膚炎 ③アトピー性皮膚炎 ④脂漏性皮膚炎 ⑤蕁麻疹 ⑥薬疹 ⑦鶏眼(うおのめ)・胼胝(たこ) (2) 光線性皮膚疾患 ①光線過敏症 (3) 熱傷・凍傷 (4) 腫瘍 ①有棘細胞腫 ②基底細胞腫 ③色素性母斑 ④悪性黒色腫 ⑤ケロイド (5) 感染性疾患 ①蜂巣炎(蜂窩織炎) ②白癬・カンジダ症 ③带状疱疹 ④疥癬	講義
1	単位認定試験：筆記試験			
テキスト				
系統看護学講座 成人看護学〔12〕 皮膚 医学書院 系統看護学講座 成人看護学〔13〕 眼 医学書院 系統看護学講座 成人看護学〔14〕 耳鼻咽喉 医学書院				

分野	専門基礎分野	授業 科目名	臨床検査総論	
開始 年次	1 年 前期	単位数 時間数	1 単位 15時間	
授業の目的及びねらい				
臨床検査や画像検査の意義を理解し、科学的根拠に基づいた看護を実践するための基礎知識を学ぶ。				
時間	目標	主題	内容	指導方法
10	1. 主要な臨床検査に関する基本が理解できる。	1) 臨床検査の基礎 2) 検体検査 3) 生体検査	(1) 臨床検査とその役割 (2) 臨床検査の実施・準備 ①臨床検査の流れ ②説明と注意 ③検体の採取・取り扱い ④検査に伴う危険とその防止 (1) 一般検査 尿、便、体液、髄液 (2) 血液学的検査 (3) 化学検査 (4) 免疫・血清学的検査 (5) 内分泌学的検査 (6) 細菌検査 (1) 生理機能検査 心電図検査 呼吸機能検査	講義
4	2. 主要な画像検査に関する基本が理解できる。	1) 画像検査の基礎 2) 主要な画像検査	(1) 画像検査とその役割 (2) 放射線を用いる検査 ・放射線の原理 ・種類と単位 ・人体への影響 (3) 画像検査の安全性 (1) X線単純撮影検査 (2) CT検査 (3) MRI検査 (4) 核医学検査	講義
1	単位認定試験：筆記試験			
テキスト				
系統看護学講座 別巻 臨床検査 医学書院				

分野	専門基礎分野	授業 科目名	公衆衛生学	
開始 年次	3 年 後期	単位数 時間数	1 単位 15時間	
授業の目的及びねらい				
公衆衛生の概念を理解し、地域で生活するさまざまな人の健康維持・増進のために、我が国がどのような法制度に基づいて活動がなされているかを学ぶ。				
時間	目標	主題	内容	指導方法
14	1. 公衆衛生の概念が理解できる。 2. 健康増進のための法制度および保健活動が理解できる。	1) 公衆衛生と健康の概念 1) 公衆衛生の技術 2) 環境保健と地域保健	(1) 公衆衛生とは (2) ポプレーションアプローチとハイリスクアプローチ (3) プライマリヘルスケア (4) ヘルスプロモーション (1) 疫学的方法に基づく公衆衛生 ・疫学と健康指標 ・臨床疫学とEBM (2) 保健統計 (1) 環境と健康 (2) 感染症とその予防対策 (3) 国際保健 (4) 地域における公衆衛生 ・地域保健 ・母子保健 ・成人保健 ・高齢者保健 ・精神保健 ・歯科保健 ・障害者保健、難病保健 (5) 学校と健康 (6) 職場と健康 (7) 健康危機管理・災害保健	講義 演習
1	単位認定試験：筆記試験			
テキスト				
公衆衛生がみえる メディックメディア 系統看護学講座 健康支援と社会保障制度〔2〕 公衆衛生 医学書院				

分野	専門基礎分野	授業 科目名	健康支援論	
開始 年次	1 年 前期	単位数 時間数	1 単位 15時間	
授業の目的及びねらい				
人間にとっての健康の意味を理解し、健康を維持・増進するための能力を養う。				
時間	目標	主題	内容	指導方法
14	1. 健康を取り巻く現代社会の状況が理解できる。 2. 健康支援の方向性 と取り組みが理解 できる。 3. 健康のレベルを向 上させる理論が理 解できる。	1) 現代社会の現状と健康 支援 1) 健康支援の取り組みに ついての考え方 2) 健康支援の取り組み 1) 健康支援に関するモ デルと概念	(1) 健康とは ・ WHO憲章 ・ アルマ・アタ宣言 ・ 国際生活機能分類 (ICF) (2) 健康を取り巻く状況 ・ 人口動態 ・ 社会構造の変化 ・ 疾病構造の変化 ・ 健康についての価値観の 多様性 ・ ライフスタイルと生活環 境の変化 (1) 予防の概念と意義 (2) プライマリヘルスケア (3) ヘルスプロモーション (1) 成人保健 (2) 地域包括ケアシステム (1) 保健行動とは (2) 健康支援に関する考え方 ・ セルフケア理論 ・ 健康信念モデル ・ エンパワメント (3) 家族への支援	講義 演習
1	単位認定試験：筆記試験			
テキスト				
系統看護学講座 健康支援と社会保障制度〔2〕 公衆衛生 医学書院				

分野	専門基礎分野	授業 科目名	関係法規	
開始 年次	3 年 後期	単位数 時間数	1 単位 15時間	
授業の目的及びねらい				
看護に関連する法規を学び、法規に規定される看護職の身分・業務・責任について学ぶ。				
時間	目標	主題	内容	指導方法
14	1. 看護に関する法規が理解できる。	1) 保健師助産師看護師法 2) 医事法 3) その他の関係法規	(1) 看護制度の変遷 (2) 総則一法の目的と定義 (3) 免許 (4) 試験 (5) 学校・養成所・養成制度 就業状況 (6) 業務 (1) 医事法規とは (2) 看護職にとっての法規 (1) 医療法 (2) 医師法 (3) その他 (1) 保健衛生法 (2) 薬務法 (3) 環境衛生法 (4) 社会保険法 (5) 福祉法 (6) 労働法 (7) 環境法	講義

分野	専門基礎分野	授業 科目名	社会保障制度	
開始 年次	1 年 後期	単位数 時間数	2 単位 30時間	
授業の目的及びねらい				
社会保障の理念を理解し、社会の中で生活する人の生活問題に対する法律、政策を学ぶ。				
時間	目標	主題	内容	指導方法
29	1. 社会保障の理念と基本的な制度が理解できる。 2. 社会福祉の理念と、生活者としての問題に対する政策が理解できる。	1) 社会保障の理念 2) 我が国の社会保障制度 1) 現代社会の変化と社会福祉 2) 社会福祉の諸制度と政策 3) 社会福祉行政のしくみ 4) 社会保障、社会福祉改革の動向	(1) 社会保障の概念 (2) 生存権と社会保障 (3) 社会保障の機能 (4) 社会保障の体系 (1) 年金制度保険制度 (2) 医療保険制度 (3) 介護保険制度 (4) 労働者災害補償保険制度 (5) 雇用保険制度 (1) 社会福祉の考え方 (2) 社会福祉の変遷 (3) 現代社会の変化 ①貧困を起因とする生活問題 ②生活問題の拡大 (1) 生活保護法と施策 (2) 障害者への施策 障害者基本法 身体障害者福祉法 知的障害者福祉法 精神保健福祉法 障害者総合支援法 (3) 児童への施策 児童憲章、児童福祉法 児童虐待防止に関する法律 (4) 高齢者への施策 老人福祉法、老人保健法 (1) 連携の重要性 (2) 社会保障、社会福祉からみた連携をめぐる課題 (1) 福祉行政の実施体制 (2) 社会福祉実践組織と運営 (3) 福祉の専門職と職種	講義
1	単位認定試験：筆記試験			
テキスト				
公衆衛生がみえる メディックメディア 系統看護学講座 健康支援と社会保障制度〔3〕 社会保障・社会福祉 医学書院				

分野	専門基礎分野	授業 科目名	医療論	
開始 年次	3 年 後期	単位数 時間数	1 単位 15時間	
授業の目的及びねらい				
今日に至る医療の変遷と、現状や課題を理解し、これからの医療について学ぶ。				
時間	目標	主題	内容	指導方法
14	1. 現代医療の現状と課題が理解できる。 			